

### ごあいさつ

令和6年の年初めに、能登半島地震により被災されました方々にお見舞い申し上げますとともに、犠牲になりお亡くなりになられた方のご冥福を心からお祈り申し上げます。一日も早い被災地の復興と日常を取り戻されることを願い、被災地の支援のために微力ながら努めてまいります。

さて、おかげさまで5期目を迎え早1年が過ぎ、感染症により脆弱化した社会経済活動を回復させるとともに、少子超高齢社会における札幌市の様々な課題解決に取り組んでまいりました。昨年は、厚別区新さっぽろの再開発が完了し賑わいも新たに「マルク新さっぽろ」として始動をいたしました。その一方で、近隣には、少子高齢化が進む課題先進地域であるもみじ台や青葉地区があります。再開発による活力を波紋のように周辺地域に拡充していけるよう取り組んでまいります。若い世代に過度な負担を迫らせぬよう、健康寿命の延伸とともに、生産性を向上させて、北の都、札幌が活力ある魅力あふれるまちとなり、皆様が健やかな笑顔をつないで安全に安心して暮らしていただけるよう研究調査を進展させてまいります。

結びに、日頃よりご理解、ご協力をいただいております皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご指導、ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

札幌市議会議員 こじまゆみ



### 北方領土返還を訴え署名運動!

「日本固有の領土である北方四島が、現在、ロシアに不法占拠されているのは、ウクライナが侵攻されたのと同じような状況です」と雪まつり会場で返還署名を呼びかけました。返還運動の灯を絶やさない努力をこれからも続けてまいります。

こじま ゆみ政務調査室

〒004-0053 札幌市厚別区厚別中央3条5丁目8-20  
TEL:011-896-6633 FAX:011-896-6631



健やかな笑顔をつなぐ  
安心安全なまちづくり

札幌市議会議員

こじま  
ゆみ 厚別区

### 令和6年第1回定例会 予算特別委員会

## 高齢化が進む地域の課題解決へデジタルを活用 もみじ台・青葉地区での取り組みをたどす

#### 新・さっぽろモデル事業について

##### (1) 事業の進捗



こじま デジタル田園都市国家構想に採択された「新・さっぽろモデル事業」は、デジタルの力を活用して、高齢化が進む「もみじ台・青葉地区」が抱えるさまざまな地域課題を解決に導き、

札幌市のまちづくりに活かすことを目指している。現時点の進捗状況について伺う。

**理事者** タブレットは用意した150台を上回る申し込みがあり、スマートフォンも目標の450件に対し参加200件と順調に推移している。もみじ台にサポート窓口を設置し、

サービスの使い方について申込者を対象とした説明会やご自宅での設置支援等を行っている。

##### (2) 地域への訴求

こじま 事業の目的達成には、地域との協力体制の構築が重要。これまでの取り組みを伺う。

**理事者** 連合町内会やまちづくり会議の役員会に定期的に参加して理解と協力を要請したほか、地域イベントへのブース出展



など積極的にコミュニケーションを図ってきた。その成果として、町内会や老人クラブの方から多くの参加者をご紹介いただき、現在の申込数につながったと認識している。

##### (3) 参加者増への取り組み

こじま 本事業では今年度の取り組みを「高齢者を中心にサービスを提供する段階」と位置付け、次年度は「若い世代を含む多層的な支援体制を構築する段階」としている。もみじ台・青葉地区のコミュニティ活性化には、若い世代を含むより多くの参加者・協力者を募る必要がある。次年度以降どのように取り組むのか伺う。

**理事者** 地域ニーズとして若い世代との交流を求める声が多かった。一方、新さっぽろを含む周辺の大学等の学生には研究テーマへの設定やボランティア活動のニーズがある。地域に多世代交流拠点を設置し、若い世代を含む多層的な支援体制の構築を目指していく。

#### こじまゆみのプロフィール

●昭和41年8月28日生まれ。札幌東高、札幌医科大学衛生短期大学部看護学科卒業。札幌社会保険総合病院(現:JCHO札幌北辰病院)ほかで勤務 ●平成19年、札幌市議会議員に初当選し、現在5期目。この間、厚生常任委員長、新型コロナウイルス感染症対策調査特別委員長、札幌市議会自民党議員会副会長、札幌・石狩地方議員連絡協議会会長など多くの役職を歴任。現在、札幌市議会厚生常任委員、大都市税財政制度・DX推進調査特別委員などを務める

# 「新たなまちづくり」の実現へ全力!

札幌市議会自民党議員会が一丸となって課題に取り組みます!



## 予算のポイント

令和6年度の一般会計予算案は1兆2,417億円(対前年度比0.2%減)となりました。これは過去2番目の予算規模で、前年度から減少したのは新型コロナウイルス関連の事業費が減ったことによるものです。予算の柱は①子ども・子育て支援 ②GX・脱炭素、経済活性化 ③ウェルネス(健康)、ユニバーサル(共生) ④安全・安心 ⑤物価高騰・人材確保・育成の5項目で、市は予算案を2月から開会の定例議会に提出しました。予算委員会における質疑を経て3月末に採決されます。



### GX・経済活性化



GXは、化石燃料から太陽光・風力発電などへ移行することにより脱炭素社会を構築することで、自民党議員会では今後10年間で最大40兆円のGX投資を呼び込むための取り組みを進めています。人手不足対策には介護・保育人材、バス運転手の確保に重点配分されました。

- ・GX投資の推進 **1億8,000万円**
- ・海外投資誘致受け入れ体制の整備 **8,900万円**
- ・水素利活用の推進 **2億2,600万円**
- ・脱炭素化の推進 **11億7,300万円**
- ・人手不足対策・人材育成 **22億3,400万円**
- ・企業立地促進「大札新」 **12億2,000万円**

### 災害対策・雪対策



安全・安心なまちづくりに向けて、本庁舎が被災した場合の災害対策本部代替施設の整備、良好な避難所生活のための食料や日用品、ストーブ等の物資の備蓄、気象データを使った災害予測システム導入のほか、除雪費には過去最大275億円が計上されました。

- ・中央区複合庁舎整備・災害対策本部機能強化 **63億2,800万円**
- ・備蓄物資整備 **1億7,400万円**
- ・除雪費 **275億6,400万円**
- ・防災・減災DX推進(風水害の危険性予測) **2,000万円**
- ・土砂災害及び雪害対策の施設訓練整備 **8,900万円**

### 子育て支援



子どもを産み育てやすく、健やかに安心して生活できる街にするために、医療費助成の拡大、子どもたちの保育・学習環境における猛暑対策、子どもを見守る体制が強化されます。

- ・医療費助成の拡充 **112億円**
- ・第2子以降の保育料無償化 **4億6,000万円**
- ・妊娠・出産から子育て期への包括支援 **1億9,000万円**
- ・保育・教育施設の冷暖房設備を整備 **15億2,000万円**
- ・第2児童相談所開所に向けた機能拡充 **8億3,000万円**
- ・いじめ対策、関連部局の連携強化 **4億4,100万円**

スクールカウンセラー配置時間拡充  
スクールソーシャルワーカー体制強化  
1人1台端末を活用し「心の健康観察」を導入

### 健康・医療・福祉



健やかに自分らしく生き生きと暮らせる街を目指して、健康寿命延伸に向けた認知症対策の強化、高齢者が健康づくりやボランティア活動によってポイントを獲得し、電子マネー等に交換する制度に必要なシステム構築、若年層や働く世代へ向けたウェルネス関連の情報発信を実施します。

- ・認知症疾患医療センター(札幌医科大学付属病院)運営 **1,500万円**
- ・敬老パスに代わる新システムの構築 **7億2,600万円**
- ・救急医療の体制強化 **19億4,700万円**
- ・市有施設や宿泊施設のバリアフリー化 **56億1,900万円**
- ・障がい者DXリスキリング **1,200万円**

### 令和6年度 札幌市一般会計予算

# 1兆2,417億円

数字は億円、カッコ内は構成比%。金額は1億円未満を、比率は小数点第2位をそれぞれ四捨五入しているため、合計があわない場合がある

